

Takehisa Yumeji

夢二でたどる アール・ヌーヴォーとその周辺

セノオ楽譜「言はれぬ嘆き」1920年

明治〜大正の出版美術にみる装飾趣味



担当学芸員による
ギャラリートーク

2025年

6月21日(土)

7月20日(日)

8月16日(土)

午後2時より

2025

6.7 SAT

9.14

SUN

19世紀末から20世紀初め、ヨーロッパを中心に流行した芸術様式「アール・ヌーヴォー」は、日露戦争後に日本へ流入して図案界での広がりが顕著でした。

竹久夢二(1884-1934)は、雑誌のイラストをはじめ、書籍装幀等でアール・ヌーヴォー様式の表現を展開します。さらに日常生活の芸術化を体現した「港屋絵草紙店」においても、植物モチーフを中心に、曲線を多用するデザインを手掛けました。

本展では、夢二によるアール・ヌーヴォーの軌跡を展覧し、美術雑誌『ユージェント』や画家のオーブリー・ビアズリーから受けた影響についても考察します。また明治末期の出版美術において、アール・ヌーヴォー様式の表現を試みた画家と図案家による仕事もあわせて紹介いたします。

参考展示 同時代のアール・ヌーヴォー

一条成美・杉浦非水・中沢弘光・橋口五葉・橋本邦助・藤島武二・本多穆堂・和田英作 他

竹久夢二美術館
TAKEHISA YUMEJI MUSEUM

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-2
TEL 03(5689)0462
<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時半迄)
休館日 月曜日ただし7月21日(月祝)、8月11日(月祝)開館、7月15日(火)、8月12日(火)休館
入館料 一般1200円/大・高生1000円/中・小生500円 弥生美術館も併せてご覧いただけます。